

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
 北信家畜畜産物衛生指導協会
 〒380-0944 長野市安茂里米村1993
 Tel 026-226-0923 Facs.026-227-2665
 E-mail: nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

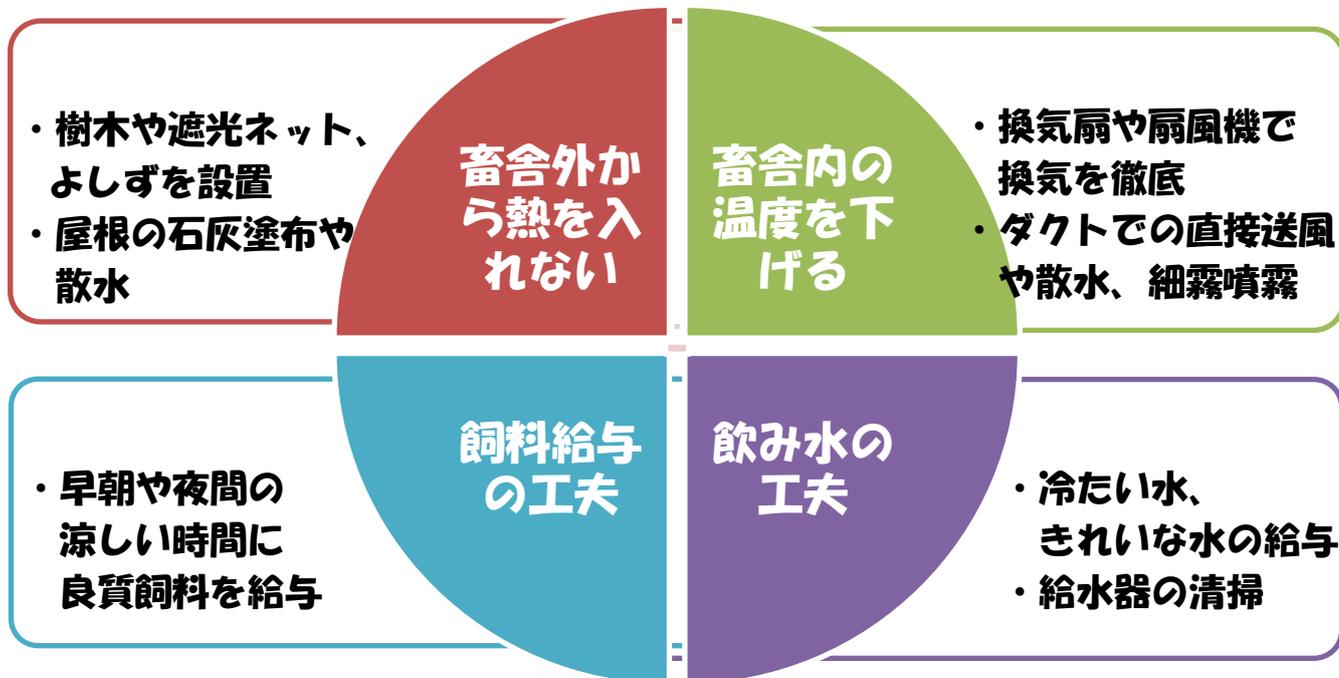
夏を乗り切ろう ~日本で一番暑い夏~

今年も暑い夏がやってきます。

今から暑熱対策に先手を打ち、暑熱被害を最小に抑えましょう！



基本の対策



こんなひと工夫もいかが？

- ✚ さわやかに感じる空気の入りを家畜の近くにしてみてはいかがでしょうか。外からの新鮮な空気は、家畜にとってもヒトにとっても、涼しさ倍増です。換気扇の向きをチェックし、空気の流れを作りましょう。
- ✚ 畜舎内の温度を測ってみましょう。家畜のいるところは以外と暑いかも。

ヒトが暑いときは家畜も暑く、ヒトが涼しいときは家畜も涼しいのです

踏み込み消毒槽は伝染病予防の第一歩

まずは踏み込み消毒槽を畜舎に置きましょう



しあわせ信州

飛び越えよう足元の距離。
広えよう信州から世界へ。

乳用牛の対策

【暑熱の影響】 乳用牛は25℃を超えるとストレスを感じ、飼料摂取量の減少、乳量の低下、繁殖性の低下、周産期疾病の増加を招きます。

- 【対策】
- ・濃厚飼料 1 回あたりの給与量を減らし多回給与する。
 - ・嗜好性、消化性の良い良質な飼料を給与する
 - ・ミネラル給与量を1～2割増給する。
 - ・後軀から乳房にかけて毛刈り（体感温度が2-3℃低下）。
 - ・サイレージ等の変敗に注意。
 - ・TMRでは、エサの掃き寄せ回数を多くする。

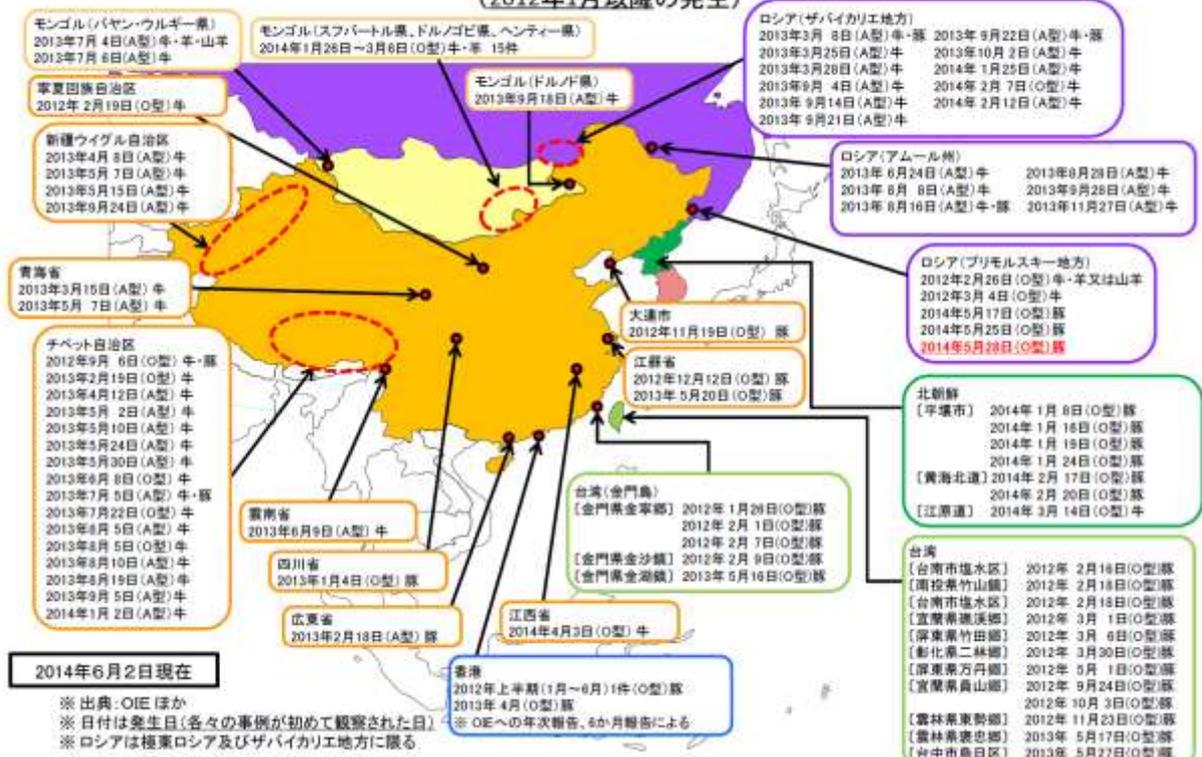
肉用牛の対策

【暑熱の影響】 肉用牛では、採食量の低下による発育停滞、繁殖性の低下、飲水量増加による子牛の下痢、ビタミンA消費による肥育牛の事故増加が懸念されます。

- 【対策】
- ・嗜好性の良い良質な粗飼料を切断して給与する。
 - ・ミネラル類、ビタミンAを通常より多く給与する。
 - ・子牛の給水バケツなどの衛生管理に注意する。

アジア地域で口蹄疫が継続発生しています 侵入防止に引き続きご注意ください

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況
(2012年1月以降の発生)



豚の対策

【暑熱の影響】 豚は皮下脂肪が厚く汗腺が退化しているため、暑熱環境には特に弱いとされています。

繁殖豚の適正温度は15～18℃で、気温30℃・湿度70%以上で著しく飼料摂取量が低下します。

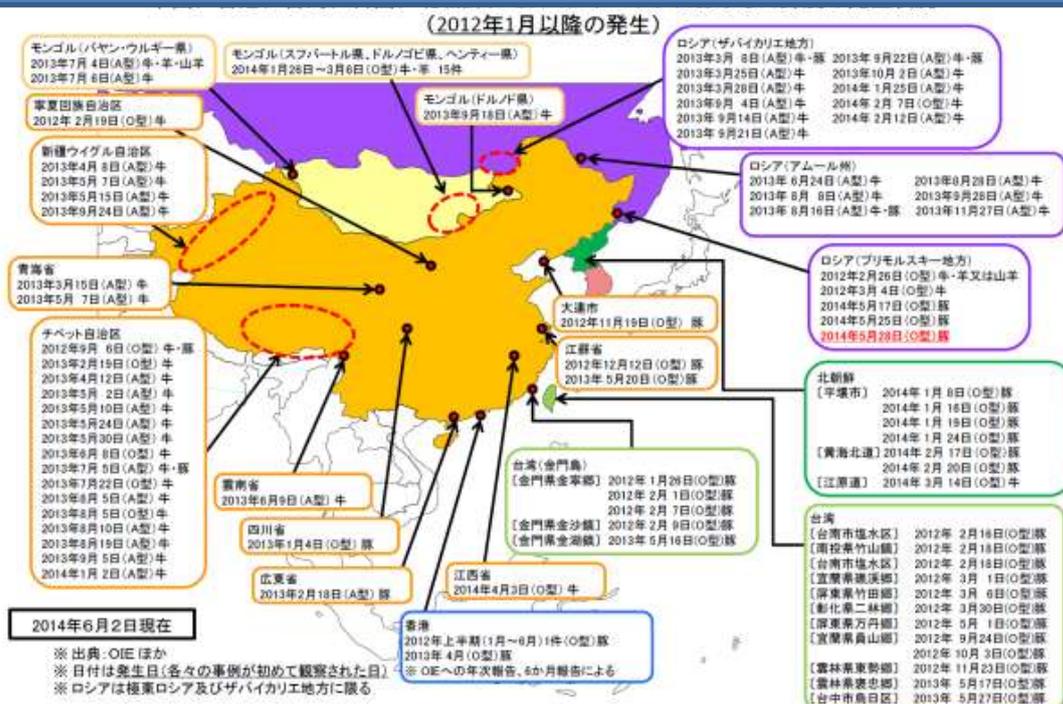
- 【対策】
- ・母豚は首筋への冷水滴下や、頭部への送風を行う。
 - ・肥育豚は飼育密度を下げて通風を確保する。
 - ・交配はできるだけ涼しい時間帯を選んで行う。

中村ファームと草笛農園が 農場 HACCP 認証農場に認証されました

中村ファーム（千曲市：養豚一貫）及び草笛農園（須坂市：信州黄金シャモ）は、5月29日に公益社団法人中央畜産会から「農場HACCP認証農場」に認証されました。

この認証は、国内で現在までに34農場が認証されており、長野県内の認証農場は3カ所となります。

アジア地域で口蹄疫が継続発生しています 侵入防止に引き続きご注意ください



鶏の対策

【暑熱の影響】 鶏には汗腺がなく暑熱環境には著しく弱く、採卵鶏では産卵率や卵重の低下、肉用鶏では発育の停滞を招きます。
また、気温35℃以上では熱死が多発します。

- 【対策】
- ・鶏体への直接送風を行う。
 - ・すだれや寒冷紗により鶏舎内への直射日光を遮断する。
 - ・採卵鶏へ重曹・ビタミンC製剤などを飼料添加する。

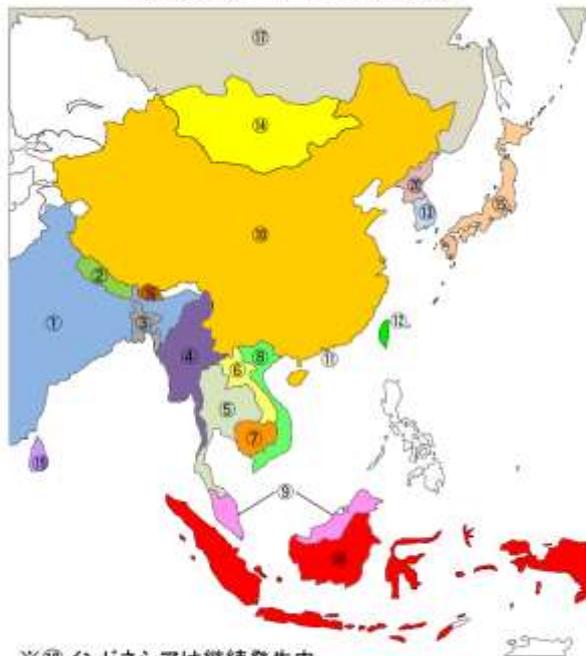
草笛農園と中村ファームが 農場 HACCP 認証農場に認証されました

草笛農園（須坂市：信州黄金シャモ）及び中村ファーム（千曲市：養豚一貫）は、5月29日に公益社団法人中央畜産会から「農場HACCP認証農場」に認証されました。

この認証は、国内で現在までに34農場が認証されており、長野県内の認証農場は3カ所となります。

アジア地域で鳥インフルエンザが継続発生しています 侵入防止に引き続きご注意ください

鳥インフルエンザの発生状況



※⑩インドネシアは継続発生中

2014年5月19日現在

出典:OIE WAHID 他

	①インド	②ネパール	③バングラデシュ	④ミャンマー	⑤タイ	⑥ラオス	⑦カンボジア	⑧ベトナム	⑨中国	⑩香港	⑪韓国	⑫モンゴル	⑬日本	⑭フィリピン	⑮ロシア	⑯北朝鮮
2012年	●															
1月	●															
2月	●															
3月	●															
4月	●															
5月	●															
6月	●															
7月	●															
8月	●															
9月	●															
10月	●															
11月	●															
12月	●															
2013年	●															
1月	●															
2月	●															
3月	●															
4月	●															
5月	●															
6月	●															
7月	●															
8月	●															
9月	●															
10月	●															
11月	●															
12月	●															
2014年	●															
1月	●															
2月	●															
3月	●															
4月	●															

※：マカオからの輸入事例（空港で検発）（発生日、検体回収日に基づく）
家畜● 野鳥▲（赤：高病原性鳥インフルエンザ、黒：低病原性鳥インフルエンザ）
※：野鳥の低病原性鳥インフルエンザについては確認可能な日本のみ記載

問い合わせ・連絡先 長野家畜保健衛生所 環境指導課（担当：山本 修、徳武慎哉）